

## ジプレキサ筋注用 10mg

## 【この薬は？】

販売名	ジプレキサ筋注用 10mg Zyprexa Rapid Acting Intra-Muscular Injection 10mg
一般名	オランザピン Olanzapine
含有量(1 バイアル中)	11mg

## 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

## 【この薬の効果は？】

- ・この薬は、精神神経用剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、脳内の神経伝達物質の受容体に作用してそのバランスを整えます。
- ・次の病気の人に処方されます。

**統合失調症における精神運動興奮**

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 血糖値が著しく上昇し、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡（激しいのどの渇き、吐き気、嘔吐（おうと）、腹痛、深く大きい呼吸、判断力の低下）などの重篤な状態になり、死亡にいたる可能性があるため、血糖値等を測定される場合があります。

- 低血糖（脱力感、倦怠感、冷や汗、手足のふるえ、うとうとする、意識が薄れるなど）があらわれることがあるため、血糖値を測定される場合があります。
- 患者や家族の方は、高血糖（激しいのどの渇き、水やジュースをたくさん飲む、尿の量が多い、尿の回数が多い）や低血糖があらわれることがあることを十分に理解できるまで説明を受けてください。これらの症状があらわれたら、ただちに受診してください。【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】に書かれていることに特に注意してください。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
  - ・昏睡の状態にある人
  - ・バルビツール酸誘導体などの中枢神経抑制剤の強い影響下にある人
  - ・過去にジプレキサ筋注用に含まれる成分で過敏症のあった人
  - ・アドレナリンを使用している人（アドレナリンをアナフィラキシーの救急治療に使用する場合を除く）
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前にそのことを医師または薬剤師に教えてください。
  - ・糖尿病の人、過去に糖尿病と診断されたことがある人、血縁に糖尿病の人がいる人、高血糖の人、肥満の人など糖尿病になりやすい人
  - ・重篤な心血管疾患の人、又は低血圧、徐脈（息切れ、脈がとぶ）、呼吸抑制（息苦しい、息切れ）、中枢神経抑制を引き起こす薬剤による治療を受けている人
  - ・尿閉、麻痺性イレウス、閉塞隅角（へいそくぐうかく）緑内障（急激な目の痛み、頭痛、吐き気、物体がぼやけて見える）の人
  - ・てんかんなどのけいれんをおこす疾患を有する人、または今までにおこしたことがある人
  - ・肝臓に障害のある人、肝臓に影響のある薬剤による治療を受けている人
  - ・高齢の人
  - ・この薬の代謝を遅くする要因（非喫煙、女性、高齢の人）を併せ持つ人
- この薬には併用してはいけない薬〔アドレナリン（アナフィラキシーの救急治療に使用する場合を除く）（ボスミン）〕や併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

### ●使用量および回数

通常、成人の使用量は次のとおりですが、あなたの年齢や症状などにより、医師が決めます。

販売名	ジプレキサ筋注用 10mg
一回量	ジプレキサ筋注用を1回10mg 筋肉内注射します。効果不十分な場合には、1回10mgまでを追加投与できますが、前回の注射から2時間以上あけます。また注射回数は、追加を含めて1日2回までです。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・血糖値が上昇し、糖尿病性ケトアシドーシスや糖尿病性昏睡などがあらわれることがありますので、特に高血糖、肥満などの患者さんでは注意してください。
- ・高血糖や低血糖があらわれることがあるため、あらわれたら、ただちに受診してください。
- ・めまい、起立性低血圧（立ちくらみ、めまい）、徐脈、低換気（意識がうすれる）がおこることがあるため、これらの症状に注意してください。
- ・この薬を使用後に他の抗精神病薬を服用する場合には、主治医に相談の上服用し、体調の変化に注意してください。
- ・体重が増加することがあります。体重が増加し始めた場合には、医師に相談し食事内容を改善したり、運動をするなどしてください。
- ・抗精神病薬を使用している人には、肺塞栓症（突然の息切れ）、静脈血栓症（下肢のむくみ・痛み）などが報告されています。長時間動かないでじっとしている人、長期間病床にある人、肥満の人、脱水状態の人は特にこれらの症状に注意してください。
- ・眠気、注意力・集中力・反射能力などの低下がおこることがあるので、高所での作業や自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を中止してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用したことを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
糖尿病性ケトアシドーシス とうによびょうせいケトアシドーシス	意識の低下、考えがまとまらない、深く大きい呼吸、手足のふるえ、判断力の低下
糖尿病性昏睡 とうによびょうせいこんすい	激しいのどの渇き、吐き気、嘔吐（おうと）、腹痛、下痢、意識がなくなる
高血糖 こうけつとう	からだがだるい、脱力感
低血糖 ていけつとう	めまい、空腹感、ふらつき、手足のふるえ、脱力感、頭痛、動悸（どうき）、冷や汗
悪性症候群（Syndrome malin） あくせいしょうこうぐん（シンドロームマリリン）	38℃以上の発熱、ふるえ、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、飲み込みにくい、筋肉のこわばり
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる

黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる
痙攣 けいれん	けいれん
遅発性ジスキネジア ちはつせいジスキネジア	意志に反して舌を動かしたり、出し入れしたり、絶えず嚙むような口の動き、意志に反して体が動く
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	脱力感、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
麻痺性イレウス まひせいイレウス	吐き気、嘔吐（おうと）、激しい腹痛、食欲不振、腹がはる、便がでない
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	発熱、のどの痛み
白血球減少 はつけっきゅうげんしょう	発熱、のどの痛み
肺塞栓症 はいそくせんしょう	突然の息切れ、胸の痛み、血を吐く
深部静脈血栓症 しんぶじょうみやくけっせんしょう	下肢のむくみ、手足の爪が青紫～暗紫色になる、下肢の痛みとはれ
薬剤性過敏症症候群 やくざいせいかびんしょうしょうこうぐん	のどの痛み、からだがだるい、食欲不振、リンパ節の腫れ、発疹、全身の発赤

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだがだるい、脱力感、38℃以上の発熱、発熱、ふるえ、けいれん、ふらつき、冷や汗、意志に反して体が動く、リンパ節の腫れ、発疹、全身の発赤
頭部	意識の低下、考えがまとまらない、意識がうすれる、判断力が低下する、めまい、頭痛
眼	白目が黄色くなる
口や喉	激しいのどの渇き、吐き気、嘔吐（おうと）、飲み込みにくい、のどの痛み、意志に反して舌を動かしたり、出し入れしたり、絶えず嚙むような口の動き、血を吐く
胸部	深く大きい呼吸、吐き気、動悸（どうき）、突然の息切れ、胸の痛み
腹部	吐き気、腹痛、食欲不振、激しい腹痛、腹がはる、空腹感
手・足	手足のふるえ、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ、下肢のむくみ、手足の爪が青紫～暗紫色になる、下肢の痛みとはれ
皮膚	かゆみ、皮膚が黄色くなる
筋肉	筋肉のこわばり、筋肉の痛み
便	下痢、便がでない
尿	尿の色が濃くなる、尿が褐色になる、尿が赤褐色になる
その他	判断力の低下、意識がなくなる

## 【この薬の形は？】

販売名	ジプレキサ筋注用 10mg
性状	黄色の塊又は粉末
形状	

## 【この薬に含まれているのは？】

販売名	ジプレキサ筋注用 10mg
有効成分	オランザピン
添加物	乳糖水和物、酒石酸、pH 調整剤

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。  
製造販売会社：日本イーライリリー株式会社 (<http://www.lilly.co.jp>)  
日本イーライリリー医薬情報問合せ窓口 Lilly Answers (リリーアンサーズ)  
電話：0120-245-970 (一般の方・患者様向け)  
受付時間：8時45分～17時30分  
(土、日、祝日、その他当社の休業日を除く)